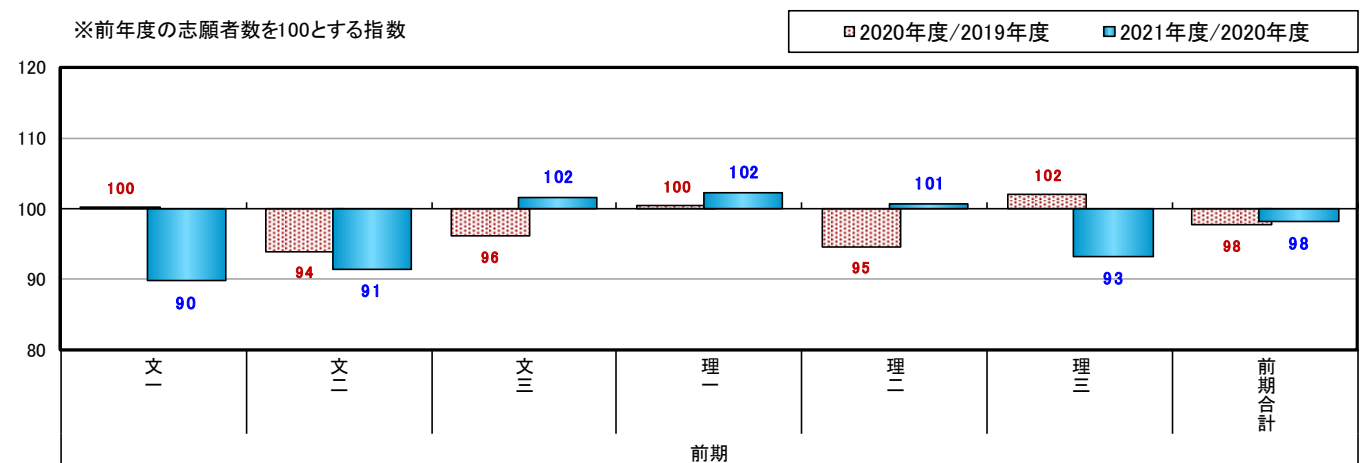


2021 年度入試状況分析【国公立大】

東京大：大学全体では微減で3年連続減少、合格者女子占有率 20%へ

前期：-170人



入試変更点 共通テスト：英(筆記(200点))※リスニング利用しない→英(リーディング(140点)+リスニング(60点))

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、170人(98)の微減で3年連続減少。文理別では、文科類が218人(94)のやや減少で2年連続減少、理科類が48人(101)の微増で3年ぶりの増加だった。増加および減少した科類はそれぞれ3科類ずつだった。なお、第1段階選抜は、文科二類で志願倍率が実施予告倍率に達せず実施されなかった。さらに、3月10日に一般選抜前期の合格者発表が行われ、一般選抜における女子占有率が20.0%となった。

<前期日程>

- 文科一類(90)は、前年度まで4年連続増加の反動で減少。
- 文科二類(91)は、模試やデータネットの動向では増加傾向だったが、データネットでの高い目標ラインや第1段階選抜ラインを敬遠して、3年連続減少。志願倍率は2.88倍で第1段階選抜実施予告倍率3.0倍に達しなかった。
- 文科三類(102)は、4年連続減少の反動は小さく、微増に留まった。
- 理科一類(102)は、微増だが2年連続増加。
- 理科二類(101)は、2年連続減少の反動は小さく、微増に留まった。
- 理科三類(93)は、難関医学部医学科への敬遠傾向と共通テスト超高得点層の減少によりやや減少で、前年度4年ぶりの増加から再び減少に転じた。
- 第1段階選抜合格率 ※《 》内は合格者最低点
 文科一類…95.2%《562点》、文科二類…実施なし、文科三類…96.7%《600点》、文科類全体…97.0%
 理科一類…92.7%《699点》、理科二類…94.0%《629点》、理科三類…88.8%《534点》、理科類全体…92.9%
- 文理別の合格率は、文科類全体は前年度よりも4.1ポイントアップ、一方で理科類全体は0.8ポイントアップしたが、3年連続で理科類の方が高い合格率となった。
- 第1段階選抜の合格者最低点は、最も高い理科一類でも得点率77.7%と東京大志望者にとっては低い得点に留まった。

<推薦入試> ※〔 〕内は前年度数値

- 募集人員100人程度に対して、志願者数は267人〔173人〕、合格者数は92人〔73人〕。
- 各高校の推薦人数の緩和により、志願者数は267人と過去6回で最も多かった。この結果、合格者数も最も多くなった。
- 学部別合格者数：法…10人〔8人〕、経済…10人〔3人〕、文…10人〔5人〕、教育…5人〔7人〕、教養…5人〔5人〕
 工…27人〔23人〕、理…12人〔12人〕、農…6人〔3人〕、薬…2人〔3人〕、医(医)…3人〔3人〕
 医(健康総合科学)…2人〔1人〕
- 工、理、農、薬を除いた募集単位で募集人員を充足する合格者を発表した。
- 科類別合格者数：文科一類…11人〔8人〕、文科二類…10人〔4人〕、文科三類…18人〔15人〕
 理科一類…34人〔32人〕、理科二類…16人〔11人〕、理科三類…3人〔3人〕